

大分大学グローバル感染症研究部門教員公募要領

1 募集人員

准教授 1名

2 所属部門

グローバル感染症研究部門

3 担当部局等

グローバル感染症研究センター（専任）

医学部（兼担）

4 専門分野

バイオインフォマティクス（生命情報科学）

5 グローバル感染症研究センター（RCGLID）の説明

感染症に関する全学的な研究力強化を戦略的に推進するため、令和3年度本学初となる全国共同利用研究施設として設置しました。本センターには、4つの研究部門を設置し、本学の国際的な感染症研究に従事する教員及び本学に蓄積された研究成果等を集結させた上で、先進的な感染症に関する研究を推進するとともに、医学部関連講座とも連携し、新薬の開発なども積極的に展開しています。また、海外フィールドを活用したグローバルな視点からの微生物ゲノム解析や、創薬までを含めた臨床と基礎研究を併せて遂行できる点が本センターの特色です。

6 業務内容

本センターでは、*Helicobacter pylori*（ピロリ菌）を中心とした感染症研究、薬剤耐性解析、病原体ゲノム解析、メタゲノム解析、国際共同研究を推進しています。特に、ブータンをはじめとするアジア諸国及びアフリカ諸国との国際共同研究を通じて、多数の病原体ゲノムデータ、薬剤耐性関連データ、メタゲノムデータ、臨床・疫学情報が蓄積されつつあります。データ解析を外部委託、又は個別研究者の対応に依存するのではなく、センター内に高度なバイオインフォマティクス解析を担う中核的人材の配置を求めています。このため、病原体ゲノム解析、メタゲノム解析、薬剤耐性遺伝子解析、解析パイプライン・プログラム開発等の実績を有する教員を採用し、ゲノムワイド感染症研究部門を中心とした研究体制を強化し、センター全体の研究支援機能を高め、研究基盤整備、国際共同研究の推進、外部資金獲得力の向上につなげていただくとともに、職員及び学生への指導等に積極的に携わっていただくことを期待しています。

7 応募資格

- （１）博士の学位を保有すること
- （２）博士号取得後、専門分野における研究歴8年以上であること
- （３）公募領域の研究において高い能力を有し、他の職員と協調して業務を遂行することができる

こと

- (4) 本学の運営・改革方針に則り、かつ本センターの役割を理解し、大学改革、活性化に積極的に関与できること
- (5) 規則を遵守し、安全管理に対する意識が高く、心身ともに健康で明朗であること

8 勤務条件・給与

国立大学法人大分大学職員就業規則等の学内規程による。下記 URL を参照してください。

給与体系は国立大学法人大分大学年俸制に関する規程を適用します。

年俸額は学歴・経験・業績等を考慮し決定します。

(参考) 年俸額 6,072,000 円 ～7,932,000 円

https://www.oita-u.ac.jp/13joho/kitei_syugyokisoku.html

※年俸額の 1/2 分の 1 の額を毎月支給します。

9 採用予定日

令和 9 年 (2026 年) 1 月 1 日以降できるだけ早い時期

10 勤務形態・任期

常勤・任期 5 年 (更新の可能性有り、最大 10 年)

また、勤務形態は、同意の上、原則として専門業務型裁量労働制を適用します。

11 応募書類

必要書類	提出部数
①推薦書 (別紙様式 I)	1 部
②履歴書 (別紙様式 II)	1 部
③業績目録 (別紙様式 III-1)	1 部
④主要な原著等の別刷 (学位論文を含む。) 及びその概要 (別添様式)	8 編以内
⑤科学研究費助成事業等の競争的研究助成金の取得状況 (別添様式)	1 部
⑥教育・研究の概要 (1,200 字程度 : A4 判様式適宜)	1 部
⑦教育評価に関する書類 (A4 判様式適宜)	1 部
⑧グローバル感染症研究部門に採用された場合の抱負 (1,200 字程度 : A4 判様式適宜)	1 部
⑨調査書 (別紙様式)	1 部

①を除く上記書類の電子ファイル (ワードあるいはエクセル、④は PDF ファイル) を電子媒体 (USB メモリ) に保存し、紙媒体の書類とともに送付してください。

12 選考方法

書類選考の上、書類選考通過者に対して面接及びプレゼンテーション審査を行います。
面接等の日時については対象者に連絡します。
なお、面接等の際の旅費は支給しません。

1 3 応募締切日

令和8年（2026年）11月6日（金）必着

1 4 書類提出先・問合せ先

〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1-1

国立大学法人大分大学グローバル感染症研究センター総務係

(TEL 097-586-5409 E-mail glocal@oita-u.ac.jp)

※ なお、問合せについては、メールのみの受付とします。

（注1）提出書類の様式については、下記URLからダウンロードしてください。

<https://www.oita-glocal.jp/2026/10/3299/>

（注2）応募に当たっては、封筒の表に「大分大学グローバル感染症研究部門教員応募書類在中」と朱書きし、書留郵便等、配達記録が残る方法で送付してください。

（注3）選考の過程で必要な書類の別途提出をお願いすることがあります。

（注4）大分大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績評価等の審査結果について同等と認められた場合には、女性を優先的に選考します。

（注5）本学では、敷地内全面禁煙を実施しています。また、健康増進法第25条の規定及び国立大学法人大分大学職員の受動喫煙の防止等に関する規程の趣旨を踏まえ、非喫煙者を優先して選考します。なお、喫煙者を採用した場合、本学は当該採用された教員に対し、産業医による禁煙指導を行います。

（注6）応募書類に含まれる個人情報は大分大学の定めに従い、本人事選考にのみ使用し、他の目的には一切使用しません。

（注7）著書、論文、報告書等の別刷り以外の応募書類は返却しませんので、予め了承ください。

【参考】大分大学グローバル感染症研究センター <https://www.oita-glocal.jp/index.html>